

国境の長い

トンネルを抜けると

雪国であった

川端康成 雪国より 〇〇かく

(楷書)

全体的な

評価の観点

について

正しく書けているか、整って書けているか、を考えて書きます。

文字は正しく書けていないと、人にまちがった内容が伝わったり、まちがった記録が残ってしまいます。また、整った形でないと読みづらくなります。

「横画、縦画、点、止め、はね、はらい、折れ、折り返し、曲がり、そり、長さ、方向、外形、筆順、接し方、交わり方、中心、画と画の間、組み立て方、筆圧、漢字とかなの大きさ、筆順と字形、用紙と文字の大きさ、点画のつながり、配置・配列、3つの部分の組み立て方、楷書と仮名の調和」などの評価の観点を学びます。

一つ一つの評価の観点を考えて書くことで、文字の正しさを知り、整えて書くこと、そして作品としてのまとまりを学んでいきましょう。